



## 山形県木材産業協同組合

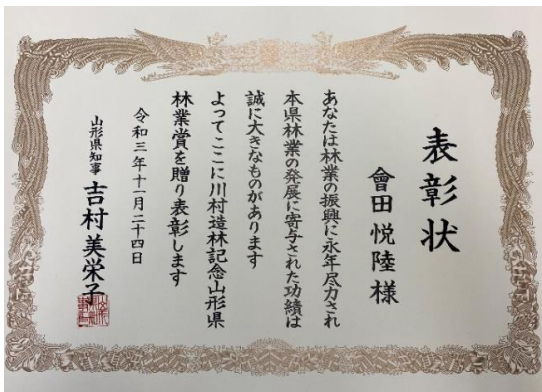
〒990-2473 山形市松栄 1-5-41  
TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699  
URL:<http://www.mokusankyo.jp>  
E-mail:[yamawood@mokusankyo.com](mailto:yamawood@mokusankyo.com)

### 目次

1. 會田悦陸氏山形県知事賞受賞!!
2. 木産協三役会開催!!
3. 令和3年度林野庁補正予算概要!!
4. モクレポ「林産物マンスリーレポート」!!
5. 東京 MOCTION に県産広葉樹等出展!!
6. 県産 JAS・広葉樹展示会開催!!



## 1 會田悦陸氏が「川村造林記念山形県林業賞」受賞!!



先月、第55回全国木材産業振興大会(北海道大会)で林野庁長官賞を受賞したばかりのアイタ材木店社長會田悦陸氏が11月24日(水)メトロポリタン山形にて平山雅之副知事から山形県知事賞となる「川村造林記念山形県林業賞」を授与されました。県林業賞は第23代県知事川村貞四郎氏が県に寄贈された山林を基金として、本県の民有林林業の振興発展に貢献した個人、又は団体を表彰するため、昭和39年に創設されています。本県の林業・木材産業及び山村の振興において、積極的かつ計画的な活動等に

より、他の模範となる功績のあった個人又は団体を表彰し、もって本県民有林林業の振興に寄与することを目的としています。會田氏は、長年木産協副理事長や山形木材業組合副組合長、林災防県支部長、県広葉樹利用拡大協議会会長等の要職に就かれ、県産木材の利用拡大の推進に大いに貢献していただきました。今回の受賞は本人の栄誉だけでなく、県木材産業業界の誇りでもあります。會田氏におかれましては、今後とも木産協の後輩たちにも引き続きご指導ご支援をお願いするものであります。



## 2 第3回木産協三役会開催!!

11月26日(金)山形市内にて、第3回木産協三役会議がコロナ感染症の新規感染者数の激減により、約1年ぶりに対面式(懇親会付き)で開催された。三役役員全員が揃って、令和3年度事業活動(前期)の報告と事業計画(後期)案について、専務から報告を受け質疑応答となった。特にJAS事業による山形新聞全面広告や東京MOCTIONについて詳細に説明された。また、懸案のやまがた県産木材利用センター業務の受託や令和4年度事務体制案、第56回全国木材産業振興大会(郡山市開催)東北支部担当と役割・負担金等について意見交換された。今回は、會田悦陸氏の知事賞受賞記念祝賀会についても意見交換となり、まだコロナの不安が全く消えていないことから、12月3日の役員会終了後の比較的少人数で感染対策を徹底し開催することとした。令和4年度の事務体制等については、役員会承認後、次号木産協たより新年号で報告したい。

### 3 令和3年度林野庁補正予算の概要!!

12月6日(月)第207回国会(臨時国会)が12日間会期でコロナ経済対策の補正予算案審議が始まります。林野庁HP等に補正予算の概要が発表されていますので木材産業関連を抜粋し報告します。

木材産業国際競争力・製品供給力強化緊急対策(一部公共)で495億円(林野庁全体で1,242億円)で、合板・製材・構造用集成材等の国際競争力を強化するため、加工施設の大規模化・高効率化や輸出向け等の高付加価値化品目への転換、路網整備や高性能林業機械の導入、搬出間伐、再造林、エリートツリー等の苗木の生産施設整備、木材製品等の輸出促進、非住宅分野の木造化等の推進による木材製品の消費拡大等を支援するとともに、今般の木材不足・価格高騰(いわゆるウッドショック)への対応として製品の供給力増大のための乾燥施設の能力向上等や、国産の製品等への転換促進等を支援するもの。具体的には、

1. 木材産業の輸出促進・体質強化対策と原木の低コスト安定供給対策に442億円、
2. 木材製品等の輸出支援対策等に5億円、
3. 木材製品の消費拡大対策等に48億円

また、例年令和4年度林野庁予算概算も12月末に決定しますので、新規予算を中心に新年号で紹介できると思います。

### 4 モクレポ「林産物に関するマンスリーレポート」発行!!

林野庁長官天羽隆氏の肝入りで10月から創刊されたモクレポ「林産物に関するマンスリーレポート」は木材産業に関するデータを満載し、月別の最新情報が手に入る。林野庁ホームページに掲載されているのでぜひご覧いただきたい。これまで木材情報は全木連経由の情報や林業白書等の一年前のデータばかりであったが、モクレポは2か月前の最新情報(木材需給量や住宅着工数、木材価格等)が無料で手に入る。分かりやすく図表でまとめられているため、木産協各種研修会等でも利用させていただいている。最近ものでは、ウッドショックの原因や今後の見込み等も読み込める内容となっています。また、全国の木造優良施設(全国木材利用推進会議での受賞施設等)やクリーンウッド情報、脱炭素社会への取組みなどモクレポで数的情報を得て、林野庁情報誌「林野」で画像的情報を得るという利用の仕方ができます。



### 5 東京 MOCTION に県産広葉樹等出展!!



11月4-17日東京新宿パークタワー(都庁隣接高層ビル内)5F オゾンの東京都で管理しているMOCTION(館長:隈研吾氏)地域発信ブースに県産JAS広葉樹等を出展PRしてきた。ブナ・ナラ・クリ・ホオ・オニグルミ・ヤマザクラ等の無垢厚板(フローリング用等)や木工品、テレワーク用広葉樹材パーティション、MOKUKA、県日用品事業採択品等を展示した。「多くの広葉樹材を初めて見た」等の多くの感想が寄せられた。

## 6 県産 JAS・広葉樹展示会開催!!

12月17日(株)山形城南木材市場納め市にて併催行事「山形県産 JAS・広葉樹展示会」を開催します。これは林野庁 JAS 構造材利用拡大事業等で作成した普及用資材など、コロナ感染症の影響であまりお披露目できなかったものを一堂に集め展示します。展示予定作品は、県産材木堀3種、簡易物置、イベントボックスなど。同時に県の広葉樹等利用拡大プロジェクト事業で整備したストックヤードや展示施設もオープンします。プレゼントも用意していますので、会場にぜひおいでください。



## 7 12月以降の行事予定!!

日程	行事名	予定出席者
12. 3	第3回木産協理事会・知事賞受賞祝賀会 (メトロ)	理事長等
12. 8	森林づくり推進大会 (林材業年次大会) (パレス)	理事長
12. 8-10	「木の国やまがた」村山・置賜地区撮影 (県南地区)	専務
12. 16	県 J A S 製材連絡協議会陳情活動 (県庁)	阿部副・専務
12. 17	山形城南木材市場納め市併催県広葉樹等展示会 (市場)	安部副・専務
12. 21	県政治連盟政治活動研修会 (村総)	事務主任
12. 28	御用納め ( 1.4 御用初め )	
1. 26	新春林政講演会 (パレス)	理事長・専務
2. 1-2	WOODコレクション2022 (モクコレ) (東京)	相田副・専務

## 8 日本百名山シリーズ紹介 (丹沢：タンザワ)

早朝の新宿駅発小田急線の急行に乗り、渋沢駅に着く。駅から登山口ビジターセンターまで、バスで15分。首都圏近郊で高尾山、筑波山に次ぐ人気の山と言え、丹沢である。古くからの大山詣でや塔ヶ岳までの初心者コースから、丹沢山や蛭ヶ岳までの奥道コースや今回の縦走コースなど健脚者コースまで、沢登りも含めた様々なコースが設定されている。登りに利用するにはつまらないとされている大倉尾根(通称バカ尾根)がスタート地点となる。しかしながら、比較的緩い尾根歩きは夜行バス疲れにはちょうど良い。そろそろ休憩したくなるビューポイントにはベンチがあり、疲れたと思うところに山小屋が現れる。都会近郊の山だけに夏期はかき氷まで町場と同じ暖簾付きで販売されている。出発から約3時間。1,491mの塔ヶ岳までくれば、遠くに富士山、相模湾、条件が揃えば、伊豆諸島まで見渡せることになり、通常はここで日帰り登山となる。ここからは



鬼ヶ岩ノ頭から蛭ヶ岳

登山客も減り、静かな山行となる。丹沢の主峰丹沢山1,567mまでアップダウンで90分。その後が丹沢最高峰で見上げる姿がかっこいい蛭ヶ岳1,673mまで2時間の稜線歩きが続く。ここからの富士山はさらに大きく奥丹沢まで来たぞと感じる満足感が味わえる。標高差も1,500mを超え、歩く距離も約20kmと日帰りではさすがにきつと感じた縦走コースでしたが、無事奥相模湖側の東野登山口に夕方たどり着き、バスで橋本まで移動し新宿に戻った。

## 9 両立支援等助成金 (厚生労働省からのお知らせ)

事業主の皆さまへ

### 2021年度 両立支援等助成金のご案内

職業生活と家庭生活が両立できる“職場環境づくり”のために、以下の取組を支援します!!

職業生活と  
家庭生活の  
両立支援

男性の育児休業取得を促進!

1 出生時両立支援コース  
(子育てパパ支援助成金)

仕事と介護の両立支援!

2 介護離職防止支援コース

仕事と育児の両立支援!

3 育児休業等支援コース

※女性活躍加速化コース、新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置による休暇取得支援コース、不妊治療両立支援コースについては別パンフレットを参照ください。

#### 1 出生時両立支援コース (子育てパパ支援助成金)

男性労働者が育児休業や育児目的休暇を取得しやすい職場風土作りに取り組み、育児休業や育児目的休暇を取得した男性労働者が生じた事業主に支給します。 ※ 支給額〈〉内は、生産性要件を満たした場合の支給額。

	中小企業	中小企業以外
① 1人目の育休取得	57万円<72万円>	28.5万円<36万円>
個別支援加算	10万円<12万円>	5万円<6万円>
② 2人目以降の育休取得	a 育休 5日以上: 14.25万円<18万円> b 育休14日以上: 23.75万円<30万円> c 育休1か月以上: 33.25万円<42万円>	a 育休 14日以上: 14.25万円<18万円> b 育休1か月以上: 23.75万円<30万円> c 育休2か月以上: 33.25万円<42万円>
個別支援加算	5万円<6万円>	2.5万円<3万円>
③ 育児目的休暇の導入・利用	28.5万円<36万円>	14.25万円<18万円>

※生産性要件や、1事業主あたりの支給回数および中小企業の範囲など詳しくは、厚生労働省のホームページをご確認ください(最終ページ参照)。

おもな  
要件

#### ①② 男性労働者の育休取得

- 男性労働者が育児休業を取得しやすい職場風土作りのため、★のような取組を行うこと。
- 男性労働者が子の出生後8週間以内に開始する連続14日(中小企業は連続5日)以上の育児休業を取得すること。

(※育児休業期間が5日以上14日未満の場合は所定労働日が4日以上、育児休業期間が14日以上の場合は所定労働日が9日以上含まれていることが必要です。)

#### <個別支援加算>

- 男性労働者の育児休業の申出日までに個別面談を行う等、育児休業の取得を後押しする取組を実施した場合に支給します。

(注意) 育児休業等支援コース(育休取得時・職場復帰時)との併給はできません。

#### ③ 育児目的休暇の導入・取得

- 育児目的休暇制度を新たに導入し、就業規則等への規定、労働者への周知を行うこと。
- 男性労働者が育児目的休暇を取得しやすい職場風土作りのため、★に準じた取組を行うこと。
- 上記の新たに導入した育児目的休暇を、男性労働者が、子の出生前6週間から出生後8週間の期間中に、合計して8日(中小企業は5日)以上所定労働日に対して取得すること。

#### ★ 取組の例

- ・ 全労働者に対して男性労働者の育児休業取得に関する管理職や労働者向けの研修を実施する
- ・ 全労働者に対して男性の育児休業制度の利用を促進するための資料配布等を行う



厚生労働省・都道府県労働局

## 10 WOODコレクションのご案内(東京都・林野庁・全木連等)



未来へ繋ぐ、  
国産材の  
無限の可能性

# WOOD

COLLECTION 2022

入場  
無料

### 国産木材に特化したハイブリッド展示商談会

日本各地と東京都が連携した、建材や什器等の木材製品展示商談会です。  
今回は、東京ビッグサイトでの展示会に加え、オンライン展示会も併せて開催します。  
皆様のご来場を心よりお待ちしております。

会期: 2022. **2.1 Tue** ▶ **2.2 Wed**  
10:00~17:30 10:00~16:30

オンライン開催: **1.18 Tue** ▶ **2.15 Tue**

会場: **東京ビッグサイト 西1・2** ホール  
東京都江東区有明3丁目11-1

[www.mokucolle.com/](http://www.mokucolle.com/)  
モクコレ2022



主催 東京都 運営 WOODコレクション(モクコレ)実行委員会

後援 林野庁、(一社)全国木材組合連合会、全国森林組合連合会、(公社)国土緑化推進機構、(公社)経済同友会、木材利用推進全国会議

出展都府県 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県、鹿児島県(予定)

お問合せ先 WOODコレクション(モクコレ)運営事務局 [mokucolle2022@tohgashi.co.jp](mailto:mokucolle2022@tohgashi.co.jp)



# 11 住宅着工状況(10月期)

令和3年10月期の県内新設住宅着工戸数は489戸となり、対前月比101.5%、対前年同月比110.9%、対前年累計比は102.7%となった。市町村別で山形市・天童市・新庄市・長井市・鶴岡市が伸びている。全国的には8か月連続の増で、着工数7万8千戸は約2年ぶり。

## 1 県内新設住宅着工戸数(令和3年10月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
10月	441	268	116	0	57	433	8	412	93.4%	314	9	89
R2.1月~10月	4,269	2,490	1,173	6	600	4,211	58	3,832	89.8%	2,774	79	979
11月	380	247	81	1	51	371	9	332	87.4%	262	3	67
12月	356	202	84	0	70	353	3	316	88.8%	223	5	88
03.1月	238	130	63	0	45	177	61	198	83.2%	148	6	44
2月	364	173	76	0	115	355	9	242	66.5%	180	4	58
3月	362	215	94	2	51	357	5	340	93.9%	231	5	104
4月	455	283	122	0	50	437	18	406	89.2%	337	7	62
5月	360	280	34	0	46	351	9	330	91.7%	283	4	43
6月	587	307	159	0	121	575	12	467	79.6%	338	8	121
7月	564	305	181	10	68	554	10	469	83.2%	352	6	111
8月	482	272	155	8	47	468	14	349	72.4%	286	5	58
9月	482	266	161	0	55	473	9	374	77.6%	300	7	67
10月	489	244	193	0	52	485	4	405	82.8%	278	6	121
対前月比	101.5%	91.7%	119.9%	-	94.5%	102.5%	44.4%	108.3%	-	92.7%	85.7%	180.6%
対前年同月比	110.9%	91.0%	166.4%	-	91.2%	112.0%	50.0%	98.3%	-	88.5%	66.7%	136.0%
02.1~当月計	4,269	2,490	1,173	6	600	4,211	58	3,832	89.8%	2,774	79	979
03.1~当月計	4,383	2,475	1,238	20	650	4,232	151	3,580	81.7%	2,733	58	789
対累計前年比	102.7%	99.4%	105.5%	333.3%	108.3%	100.5%	260.3%	93.4%	-	98.5%	73.4%	80.6%

## 2 地域別新設住宅着工戸数(令和3年10月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	489	4,383	110.9%	102.7%	3,580
山形市	121	1,443	126.0%	122.3%	965
上山市	8	80	80.0%	105.3%	78
天童市	68	310	144.7%	81.6%	231
山辺町	3	49	60.0%	111.4%	46
中山町	1	20	33.3%	64.5%	19
東南村山	201	1,902	124.8%	111.2%	1,339
寒河江市	15	202	71.4%	88.2%	200
河北町	5	51	125.0%	78.5%	50
西川町	0	1	-	100.0%	1
朝日町	0	4	0.0%	33.3%	4
大江町	2	11	-	100.0%	11
西村山	22	269	84.6%	84.6%	266
村山市	5	55	55.6%	107.8%	49
東根市	4	275	9.8%	64.4%	262
尾花沢市	2	25	50.0%	100.0%	22
大石田町	1	6	-	50.0%	6
北村山	12	361	22.2%	70.1%	339
村山地域	235	2,532	97.5%	99.5%	1,944
新庄市	32	137	266.7%	144.2%	136
金山町	0	2	-	66.7%	2
最上町	0	7	0.0%	58.3%	7
舟形町	0	8	0.0%	53.3%	8
真室川町	1	11	-	84.6%	11

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	1	0.0%	33.3%	1
鮭川村	0	3	0.0%	42.9%	3
戸沢村	0	5	0.0%	-	5
最上地域	33	174	150.0%	117.6%	173
米沢市	27	267	50.9%	107.2%	257
南陽市	6	104	75.0%	76.5%	88
高島町	3	61	75.0%	70.9%	60
川西町	3	55	300.0%	220.0%	38
東南置賜	39	487	59.1%	98.2%	443
長井市	19	106	146.2%	77.4%	105
小国町	27	34	2700.0%	242.9%	8
白鷹町	3	34	75.0%	154.5%	34
飯豊町	1	16	50.0%	88.9%	16
西置賜	50	190	250.0%	99.5%	163
置賜地域	89	677	103.5%	98.5%	606
鶴岡市	77	573	240.6%	126.5%	469
三川町	6	24	200.0%	88.9%	24
庄内町	5	59	125.0%	134.1%	57
田川	88	656	225.6%	125.2%	550
酒田市	43	331	86.0%	96.5%	295
遊佐町	1	13	33.3%	56.5%	12
飽海	44	344	83.0%	94.0%	307
庄内地域	132	1,000	143.5%	112.4%	857

注:累計は令和3年1月~